

# きんめだい太平洋系群



## 評価対象種：キンメダイ（伊豆諸島海域）

令和8年4月

### 資源の水準と動向「高位・横ばい」

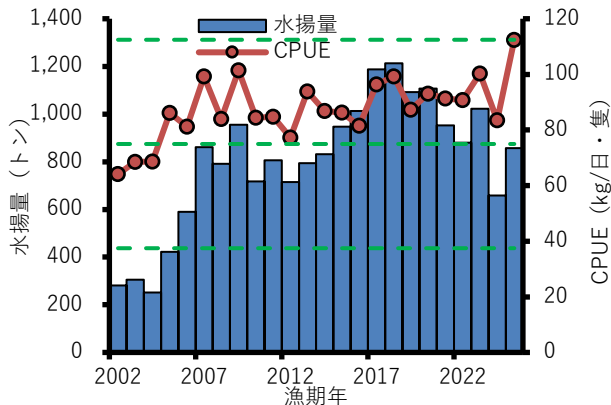


図1 水揚量とCPUEの推移

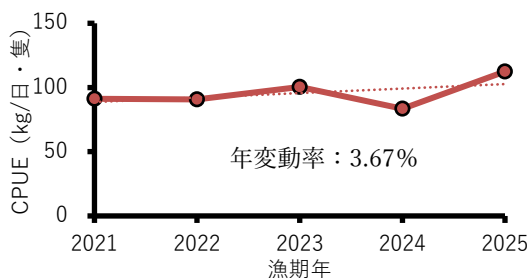


図2 底魚一本釣りCPUEの年変動率

2002年以降、伊豆諸島でのキンメダイの水揚量は徐々に増加し、2016年には初めて1,000トンを超えた。2018年には最大の1,213トンを記録したが、その後減少し、2024年には658トンと近年では低い値となった。CPUE（底魚一本釣り漁業1日1隻あたりの水揚量。他県船は含まず）は、2005年以降75.0～101.5 kg/日・隻で増減を繰り返していたが、2025年に112.5 kg/日・隻で最大となった。（図1）。

本資源評価票での資源量指標値はCPUEとした。2025年における資源の水準は、CPUEが112.5 kg/日・隻で最大値となったため「高位」とした（図1）。

資源の動向は、直近5年間のCPUEから算出した年変動率が3.67%であり、年間±5%以上の増減がないため「横ばい」とした（図2）。

### 生態学的特性

- 分布・回遊：東京都では伊豆諸島から小笠原諸島及びその周辺の海山に分布する。伊豆諸島北部海域で放流されたキンメダイの多くはその後同海域内に留まる傾向が強い<sup>1)</sup>。
- 年齢・成長：尾叉長は満1歳で15～17cm、3歳で25～28cm、5歳で32～35cm、10歳で38cm前後<sup>2-6)</sup>。
- 成熟・産卵：生物学的最小形は尾叉長31.8cm<sup>7)</sup>、産卵期は6～9月。
- 被捕食関係：ハダカイワシ類などの魚類やエビ類、イカ類を捕食する<sup>8)</sup>。また、イルカに捕食されることが知られている<sup>9)</sup>。

### 東京都におけるキンメダイ漁

- 漁業：周年漁獲される。東京都海面では他県船との入会操業となっている。
- 漁法：底魚一本釣り漁業（自由漁業）及び底立てはえ縄漁業（知事許可漁業）により漁獲される。
- 管理：平成2年から漁業者自らが本種の資源管理型漁業に着手し、自主的資源管理（夜間操業の禁止や小型魚の再放流、漁具・漁法の制限、禁漁期間や体長制限等）を強化しながら、他県（千葉・静岡・神奈川）と協議を重ねてきた。また、新島・神津島・三宅島・八丈島では、東京都資源管理方針に基づく資源管理協定を策定し、資源管理に取り組んでいる。

- 1) [小埜田明. 2012. 伊豆諸島北部海域におけるキンメダイの標識放流結果（移動経路の解明に向けて）. 東京都島しょ農林水産総合センター平成 24 年度主要成果集.](#)
- 2) 芝田健二. 1983. 房総海域におけるキンメダイについて—1—年令と成長. 千葉水試研報, (41): 55-57.
- 3) Massey, B. R. and P. L. Horn. 1990. Growth and age structure of alfonsino (*Beryx splendens*) from the lower east coast North Island New Zealand. NZ. Mar. Freshwat. Res., (24): 121-136.
- 4) Adachi, K., K. Takagi, E. Tanaka, S. Yamada and T. Kitakado. 2000. Age and growth of alfonsino *Beryx splendens* in the waters around the Izu Islands. Fish. Sci., 66(2): 232 -240.
- 5) 明神寿彦・浦 吉徳. 2003. 高知県産キンメダイの年齢と成長. 黒潮の資源海洋研究, (4): 11-17.
- 6) 秋元清治. 2007. 伊豆諸島周辺海域におけるキンメダイの年齢と成長. 神奈川水技報, (2): 13-19.
- 7) 秋元清治・久保田康子・三谷 勇・齊藤真美. 2005. 伊豆諸島周辺海域におけるキンメダイ *Beryx splendens* 雌の成熟. 日本水産學會誌, 71(3): 335-341.
- 8) 増沢 寿・倉田洋二・大西慶一. 1975. キンメダイその他底魚類の資源生態. 日本水産資源保護協会. 東京, pp. 46-48.
- 9) Takahashi, R., M. Sakai, K. Kogi, T. Morisaka, T. Segawa and H. Ohizumi. 2020. Prey species and foraging behaviour of Indo-Pacific bottlenose dolphins (*Tursiops aduncus*) around Mikura Island in Japan. Aquatic Mammals, 46(6): 531-541.